

**NAVEL PAD USING PERMANENT MAGNET AND NATURAL STONE**

Patent Number: JP2000202037  
Publication date: 2000-07-25  
Inventor(s): AKAOKA NORIO  
Applicant(s): AKAOKA NORIO  
Requested Patent: ☐ JP2000202037  
Application: JP19990043602  
Priority Number(s):  
IPC Classification: A61N2/08; A61H39/04  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To activate the viscus as a whole by stimulating or warming a navel, a meridian spot called as shin ketsu in the Oriental physic to promote the circulation of blood.

**SOLUTION:** A proper number of permanent magnets and natural stones 1 such as crystal known as emanating substantial energy are mounted on a belt wound on the belly of the user with the center part thereof protruding to match the hollow of the navel and a bag 2 is attached wrapping it to hold a heat reserving agent such as pocket heater. An opening 4 is formed on the surface of the bag 2 contacting the belly so as to properly expose the permanent magnets and natural stones 1 thereto.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-202037

(P2000-202037A)

(43) 公開日 平成12年7月25日 (2000.7.25)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームコード (参考)
A 6 1 N 2/08		A 6 1 N 1/42	F 4 C 1 0 1
A 6 1 H 39/04		A 6 1 H 39/04	P 4 C 1 0 6
			Y
		A 6 1 N 1/42	D

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願平11-43602

(22) 出願日 平成11年1月12日 (1999.1.12)

(71) 出願人 594019677

赤岡 教雄

山梨県甲府市川田町933番地

(72) 発明者 赤岡 教雄

山梨県甲府市川田町933番地

Fターム (参考) 4C101 BA01 BA08 BA10 BB06 BC02

BD17 BE02 EB04 EB12

4C106 AA01 BB02 CC13 CC14 EE04

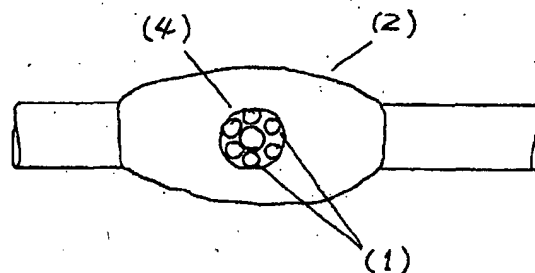
FF04 FF16

(54) 【発明の名称】 永久磁石や天然石を使用した臍当て

(57) 【要約】

【課題】 この発明は、東洋医学で言う神関のツボである、臍を刺激したり、暖めたりして血行を促進させて、内蔵全般の活性化を図るものである。

【解決手段】 臍の窪みに下度合う様に中心部を突出させた適宜の数の永久磁石やパワーを出すと言われる水晶のような天然石を腹に捲くベルトに取り付け、これを包むように懐炉のような保温剤に入れられる袋を付ける。この袋の腹に当たる面には、永久磁石や天然石が丁度露出する様な、口をつける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 永久磁石や天然石を臍を中心にした部分に当て、懐炉などで保温も出来るようにした 臍当て

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、特に臍を中心にした部分に磁気や天然石パワーをあてたり、暖めたり、保温したりして健康増進を図ろうとするものである。

【0002】

【従来の技術】従来、特にこの様に特別に臍を中心に刺激したり、暖めたりするものは無かった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】東洋医学では、人体に数多くあるツボのなかでも、中心的で最も大切な場所の一つが、ヘソに位置する神闕というツボであると言われている。本発明は、ここを刺激したり、暖めたりして、血行を促進させ、内臓全般を活性化して、健康増進や老化防止に役立てようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】人体の臍の窪みに丁度合う様に、その中心部分を少し突出させ、その周りを取り巻くように適宜の数の永久磁石や、パワーを出すといわれる水晶などのような天然石を配置し、これを腹に捲くベルトに取り付ける。また、この部分を懐炉などで保温できるように袋を付け、この袋の裏面、腹に当たる面には丁度、磁石や天然石が露出する様に口を付ける。

【0005】

【発明の実施の形態】次に本発明の実施の形態を述べると、臍の窪みに丁度合う様に中心部分を少し突出させてあるので、永久磁石や天然石などが、臍に良く定着し、

また懐炉などの入れられる袋の裏面（腹に当たる面）からは永久磁石や天然石が露出する様にしてあるので、その分磁気やパワーを阻害することが無い。

【0006】

【発明の効果】永久磁石または天然石が、臍を中心によく定着し、懐炉などを入れる袋を付けても、これらは露出しているので、その効力を損なうに及ばない。本発明は、上述のように構成されているので、次に記載する効果を奏する。東洋医学では臍は身体の中で、数あるツボの中でも最も大切なツボの一つで神（命）が宿るところとの意味で神闕のツボという。このツボに磁気や天然石のパワーを当てて刺激したり、懐炉などで暖めたりすることで血行が促進され、内臓全般が活性化されて前立腺肥大や胃弱、便秘、下痢、生理痛や生理不順などの改善に優れた効果を現すとされ、健康増進や老化防止に大いに有効である。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 腹に締めるベルトの背面図、（腹に当たる面）

【図2】 腹に締めるベルトの側面図

【図3】 このベルトに懐炉などを入れる袋を付けたものの正面図

【図4】 袋を付けたベルトの背面図、（腹に当たる面）

【図5】 袋を付けたベルトの側面図

## 【符号の説明】

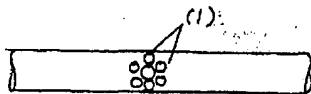
(1) は永久磁石または水晶などの天然石

(2) は懐炉などを入れる袋

(3) はチャックなど、袋の口

(4) は永久磁石や天然石などの露出する袋の口

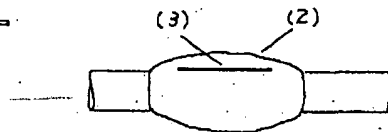
【図1】



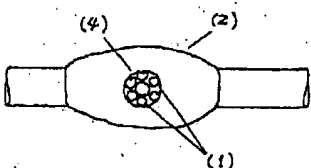
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

